平成２３年度

一之瀬小学校　研究構想図

大垣市の方針と重点

基礎的な知識・技能の定着を図るとともに，思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てる。

一之瀬小の教育目標

仲よく進んでやりぬく子

仲よく働く子　進んで学ぶ子　体をきたえる子

児童の実態

・全校児童の前で、恥ずかしがらずに話をしたり、話を聞いて感想を述べたりできる児童が多い。
・場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら、気持ちをこめて音読できる児童が多い。
・大切な言葉にこだわって内容を読み取ることができるようになってきたが、叙述に基づき、根拠を明らかにして自分の考えをまとめる力に弱さが見られる。
・話し合いの中での意見の相違点や共通点を考え、自分の立場を明確にして話すことに弱さが見られる。

願う児童の姿

基礎的な知識・技能を身につけ、主体的に学習課題を追究し，仲間とともに学び合って確かな学力を身に付ける児童

研究主題

確かな読みの力を付け，思考力・表現力を高める国語科指導
～少人数学級の特性を生かして～

研究仮説

①児童の実態をふまえ，「個人カルテ」の工夫をすれば，確かな読みの力を付けることができる。

②付けたい力を明確にした指導過程を仕組めば，確かな読みの力を付けることができる。

③読みの手がかりとして「読み取りのわざ」」の活用を図れば，確かな読みの力を付けることができる。

研究内容１	研究内容２	研究内容３
児童の実態をふまえた「個人カルテ」の工夫・改善	付けたい力を明確にした指導過程の工夫・改善	読みの手がかりとなる「読み取りのわざ」の活用のあり方
○「個人カルテ」の内容のあり方 ・初発の感想からの課題づくり ・個への指導援助の明確化 ・評価規準の具体化 ○「個人カルテ」による個の変容の見届けと生かし方	○付けたい力を見通した単元指導計画 ・言語活動の位置付け ○付けたい力を明確にした指導過程 ・考えを深める発問のあり方 ・構造的な板書のあり方 ・１時間の学習のまとめのあり方	○「読み取りのわざ」の内容の吟味 ・教材の特質（物語・説明文） ・資料分析 ○「読み取りのわざ」の活用 ・児童が主体的にわざを使用する手だて ・ノート、ワークシートの工夫

基礎学力の充実

○確かな読みの力につながる、発達段階に応じた読み取りのわざ。次の学習につながる「学習のまとめ」
○皆読皆話との関連（発音　音読　朗読）　○書くこと（しゃくなげ文集）　○図書館の活用

「家庭学習の手引き」の活用　…　アンケートの活用と指導　（学級懇談　学活）

教科の特性に応じた意図的な家庭学習　…　授業と家庭学習の連接　音読カードの活用

９ヵ年を見通した「話し方」「聞き方」の学業指導　上石津中との連携　上石津中学校区共通三実践